※※2005年10月改訂（第3版 薬事法改正に伴う改訂）
※2003年5月改訂（第2版）

日本標準商品分類番号
872619

外用殺菌消毒剤 滅菌製剤

エルエイジー0.2液

LAG-0.2 Solution

塩酸アルキルジアミノエチルグリシン製剤

承認番号	21000AMZ00503000
薬価収載	1998年7月
販売開始	1998年4月
再評価結果	1982年8月

貯　　法：遮光、室温保存
使用期限：ラベルに記載

【組成・性状】
※1. 組　成
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン0.2W/V%を含有する。
添加物としてpH調整剤を含む。
2. 製剤の性状
無色～微黄色澄明の液で、わずかに特異なにおいがある。
比重d^{20}_{20}：約1.00
pH：7.0～9.0

【効能・効果】【用法・用量】
塩酸アルキルジアミノエチルグリシンとして下記の濃度になるように水で希釈、またはそのままで、次のように使用する。

効能・効果	用法・用量
医療用具の消毒	0.05～0.2%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。
手指・皮膚の消毒	0.05～0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。
手術部位（手術野）の皮膚の消毒	0.1%溶液で約5分間洗った後、0.2%溶液を塗布する。
手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。

〈用法・用量に関する使用上の注意〉
本剤の各適応に対する使用濃度は上記とされているが、その使用濃度にあたっては、再評価結果に留意すること。
（アルキルポリアミノエチルグリシンの再評価結果）
アルキルポリアミノエチルグリシンとして下記の濃度になるように水で希釈して、次のように使用する。
1. 手指・皮膚の消毒
0.05～0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。
2. 手術部位（手術野）の皮膚の消毒
0.1%溶液で約5分間洗った後、0.2%溶液を塗布する。
3. 手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒
0.01～0.05%溶液を用いる。
4. 医療用具の消毒
0.05～0.2%溶液に10～15分間浸漬する。
5. 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒
0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、又は噴霧する。
なお、結核領域において、上記4、5に用いる場合は0.2～0.5%溶液を用いる。

【使用上の注意】
1. 副 作 用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類＼頻度	0.1～5%未満
過敏症注)	発疹、瘙痒感等

注）症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響
本剤で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。
3. 適用上の注意
(1)人　体
1) 使用時
ア. 外用にのみ使用すること。
イ. 原液が眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
ウ. 散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。
エ. 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので注意すること。
オ. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
カ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。
2) 調製時
深い創傷に使用する場合の希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
(2)その他
使用時
石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
(3)緊急処置
飲み込んだ場合
水でよく口を洗い、水又は牛乳を飲ませ（無理に吐き出させない）、直ちに適切な処置を行うこと。

【薬効薬理】
塩酸アルキルジアミノエチルグリシンはグラム陽性菌、陰性菌及び真菌さらに結核菌にも有効であるが、大部分のウイルスに対する効果は期待できない。陽イオン界面活性剤と比較して、有機物や金属イオン存在下での効力低下が少ない。

【有効成分に関する理化学的知見】
一般名：塩酸アルキルジアミノエチルグリシン
(Alkyldiaminoethylglycine Hydrochloride)
構造式：〔$RNHCH_2CH_2NHCH_2CH_2NHCH_2COOH$〕・HCℓ
Rは主として$C_{12}H_{25}$である。

【取扱上の注意】
1. 次の医薬品等が混入すると沈殿を生ずるので注意すること。
ヨードチンキ、マーキュロクロム、硝酸銀、プロテイン銀、フェノール、過酸化水素、過マンガン酸カリウム、タンニン酸、スルホサリチル酸、スルホサリチル酸ナトリウム、重クロム酸カリウム等
2. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するため0.1～0.5%の割合で亜硝酸ナトリウムを溶解すること。
3. 開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。

【包　装】
500mL、1L

【文献請求先】
吉田製薬株式会社　学術部
〒164-0011　東京都中野区中央5－1－10
TEL 03－3381－2004

※※
製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951